

赤ちゃんのエブリスディドライシロップ服用をサポートされる方へ

監修 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 臨床ゲノム科 医長 荒川 玲子 先生

- ご使用前に本リーフレットをよくお読みいただき、手順に沿って、正しく服用させてください。
- このお薬は、必ずお子さんの手の届かないところで管理してください。

エブリスディドライシロップを服用させる時に使用するもの

- お薬の瓶
- 専用のディスペンサー
※服用量によって1mLまたは3mLのディスペンサーをご使用ください。
- 「赤ちゃんのエブリスディドライシロップ服用をサポートされる方へ」(本リーフレット)
- お手持ちの哺乳瓶
※10～20mLの水を入れ、お薬が口の中に残るのを防ぐために使用します。

瓶

チャイルド
レジスタンスキャップ
(以下、キャップ)

アダプター
(調製後は瓶に
装着済み)

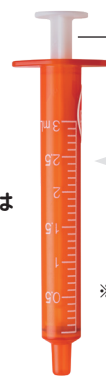


瓶にはディスペンサーでお薬を抜き取れるようアダプターが装着されています。

ディスペンサー



または



押し子

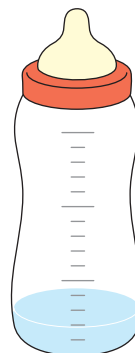
0.1mLごとの
目盛りが付いています。

※服用量によって1mLまたは3mLのディスペンサーを医療機関でお薬と一緒にお渡しします。

本リーフレット



哺乳瓶

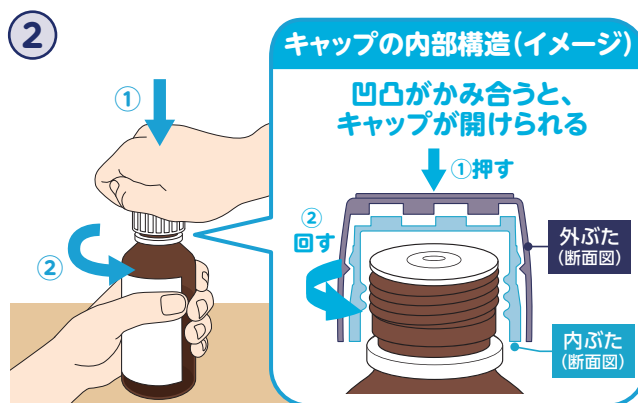


10～20mLの
水を入れておき
ます。

服薬の手順



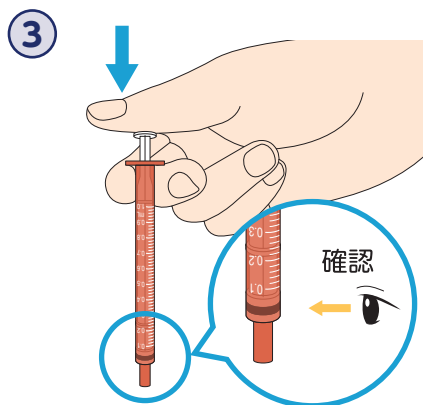
キャップをした状態で瓶を5秒間よく振る。



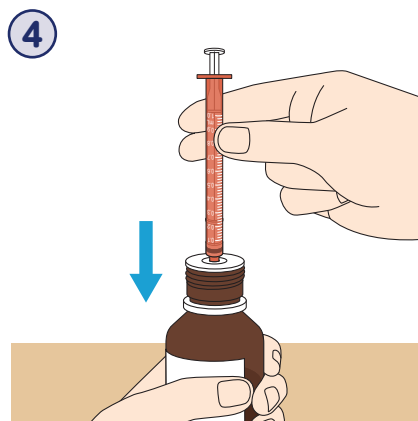
キャップを下に押しながら左(反時計回り)に回し、キャップ内部の凹凸がかみ合うことを確認した後、下に押した状態のままさらに左に回してキャップをはずす。

！
「カチッ、カチッ」と音がする場合は、キャップが空回りしています。

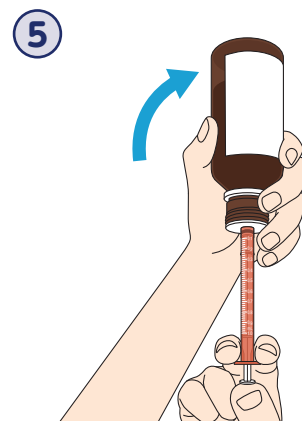
！
キャップを強く下に押しすぎると、キャップが破損するおそれがあります。



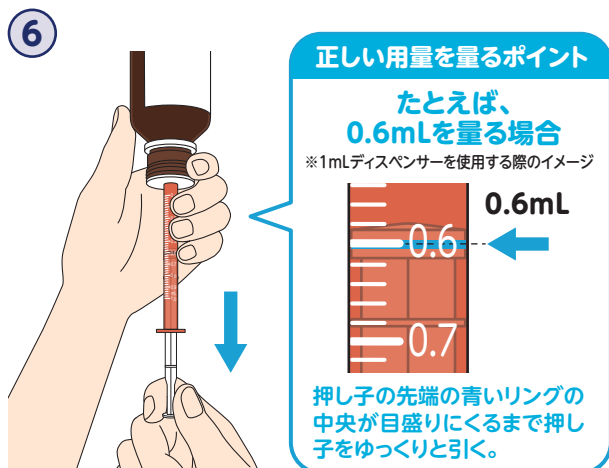
専用のディスペンサーを用意し、押し子が完全に先端まで押し込まれていることを確認する。



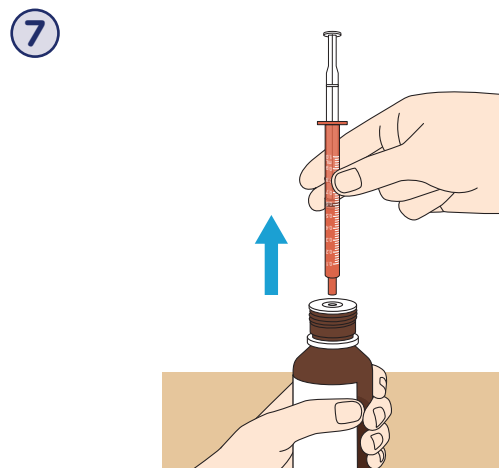
押し子に触れないようにディスペンサー本体を持ち、ディスペンサーの先端をアダプターにしっかりと差し込む。



ディスペンサーを挿入したまま、瓶を静かにひっくり返す。ひっくり返す際、押し子が先端まで押し込まれた状態を保つ。



押し子をゆっくりと引き、正しい用量のお薬を抜き取る。
*内容成分が浮遊することがありますが安全性に問題はありません。



ディスペンサーを挿入したまま瓶を立たせ、その後、ディスペンサー本体を持ってゆっくり引き抜く。その際、押し子が動かないよう注意する。



8



ディスペンサーの先で
口元に軽く触れると、
口を開けてくれやすくな
ります。

赤ちゃんを抱いた状態で
ディスペンサーを口に入れ、
先端を頬の裏側に向ける。



ディスペンサーでお薬を量り
取った後は、ただちに服用させ
ること。



お薬がよだれとともに口から
出たり、吐き出したりしまった
場合は、頬の周りも石けんと水で
十分に洗い流すこと。

9



押し子をゆっくりと押して、少量 (0.2～
0.3mL) ずつうまく飲み込むかを確認
しながら、全量を押し出す。

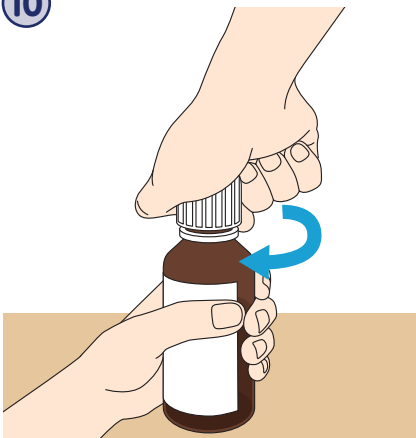


お薬が口の中に残るのを防ぐため、
服用後に哺乳瓶で水 (10～20mL) を
飲ませる。



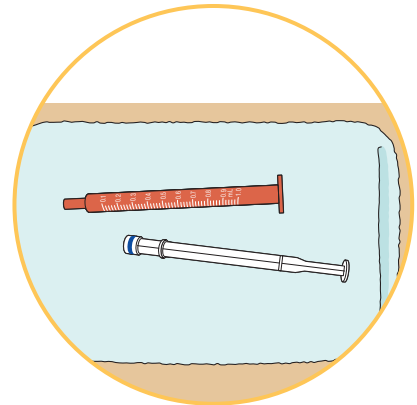
服用後1時間以内に直接母乳を
与えることが必要となった場合
は、授乳後に赤ちゃんの口の中
に残ったお薬がお母さんの皮膚
に付着する可能性があるので、
乳房を石けんと水で十分に洗い
流すこと。

10



キャップを右 (時計回り) に回し、
締める。

11



使用したディスペンサーの押し子はずし、流水でよく洗い、乾燥させる。

*洗剤を使うと、押し子のゴムやディスペンサーの目盛りが薄くなるおそれがあります。

服用上の注意点

服用の手順は、p.2、3をご参照ください

服用の方法

- 医療機関で渡された専用のディスペンサーを使用して服用させてください。
- お薬が口の中に残るのを防ぐため、服用後に哺乳瓶で水を飲ませてください。
- 調合乳または母乳に混合しないでください。

服用時間

- お薬は1日1回食後（授乳後）、できるだけ同じ時刻に服用させてください。
予定時刻に服用させることができなかった場合は、服用予定時刻から6時間以内であれば、可能な限り速やかに服用させてください。翌日はいつもの予定時刻に服用させてください。
服用予定時刻から6時間を超えた場合は、翌日の服用予定時刻に1回分の用量を服用させてください。
- お薬を服用後に吐き出した場合は、追加で服用させず、翌日の服用予定時刻に1回分の用量を服用させてください。

服用させる量

- 服用させる量は医師・薬剤師の指示に従い、ご自身の判断で変更しないでください。
- 間違えた量を服用させた場合はただちに医師・薬剤師に相談してください。

取扱い上の注意点

保存方法

- 冷蔵庫（2～8℃）に瓶を立てて保存してください。
- 使用後は速やかに冷蔵庫に戻してください。やむを得ず冷蔵庫以外の場所で保存する場合は、40℃以下で保存し、その期間の合計5日（120時間）以内に使用してください。40℃を超える場所で保存した場合、または冷蔵庫以外の場所（40℃以下）での保存期間が合計5日（120時間）を超えた場合は使用しないでください。
- 凍結を避けるため、冷凍庫の中や冷蔵庫の冷気の吹き出し口近くに置かないでください。凍結したお薬は服用させないでください。
- 遮光保存のため、お薬を別の容器に移し替えないでください。

お薬や服用後の よだれなどが、 体や服に付いた場合

- 皮膚や粘膜に触れた場合は石けんと水で十分に洗い流し、眼に入った場合は水でよく洗浄してください。
- お薬がこぼれた場合は水で湿らせたペーパータオルなどで拭き取ってください。

お薬が残った場合

- 服用期限を過ぎたお薬は服用させないでください。服用期限は瓶のラベルに記載しています。
- 各自治体のルールに従って廃棄してください。